

令和4年6月23日

報道関係者各位

山県市

岐阜県初

世界首長誓約 誓約式を開催

6月28日（火）11時～ 山県市役所公室

山県市（市長 林 宏優）は、国が掲げる2050年脱炭素化に向けて、本年度を当市の「脱炭素元年度」と位置づけ、脱炭素に関する各種施策を進めていきます。

そこで、将来の世代へ持続可能な山県市をつないでいくために、再生可能エネルギーの地産地消や気候変動の影響への適応などに取り組み、パリ協定の目標達成に貢献することを国際的に誓約する世界首長誓約に署名します。また、6月23日の市定例議会にて承認され、宣言しました「カーボン・マイナス・シティ宣言」についても報告します。

名 称	世界首長誓約 誓約式
日 時	6月28日（火） 11時～
場 所	山県市役所（山県市高木1000番地1） 2階公室
出席者	世界首長誓約 日本事務局 事務局長 杉山 範子 （名古屋大学大学院特任准教授） 事務局長 中山 典子 （名古屋大学大学院環境学研究科） 事務局長 Marjan Khalegi （名古屋大学大学院環境学研究科） 山県市長 林 宏優
次第	1. 開会 2. 出席者紹介 3. 世界首長誓約 署名・提出 4. 山県市長 林 宏優 あいさつ 5. 世界首長誓約 日本事務局 事務局長 杉山 範子 あいさつ 6. 写真撮影 7. 質疑応答 8. 閉会

<カーボン・マイナス・シティ宣言について>

2050年脱炭素化を実現するため、2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明した地方公共団体が増加しています。全国では約700自治体が宣言を実施しており、岐阜県内では県含め11自治体が独自のゼロカーボンシティ宣言を実施しています。市では、このたび独自の宣言としてカーボン・マイナス・シティ宣言を表明しました。

<世界首長誓約について>

「世界気候エネルギー首長誓約」(Covenant of Mayors for Climate and Energy)は、持続可能なエネルギーの推進、温室効果ガスの大幅削減、気候変動の影響への適応に取り組む、持続可能でレジリエント(強靱)な地域づくりを目指し、同時に、パリ協定の目標の達成に地域から貢献しようとする自治体の首長が、その旨を誓約し、そのための行動計画を策定した上で、具体的な取組を積極的に進めていく国際的な仕組みであり、この傘下の地域首長誓約として、日本では「世界首長誓約/日本」が立ち上がりました。

誓約自治体は世界では約11,760自治体、日本国内では31自治体が国内、世界に対し誓約を行っています。岐阜県内では山県市が初めての誓約自治体です。

脱炭素社会実現に向け、具体的な削減目標を策定し、実行性を高める国際的な仕組みを活用し、市内の再生可能エネルギー地産地消モデルの形成を進め、今後進める施策についても実現力・実行力をもって推進していきます。



**Covenant of Mayors
for Climate & Energy JAPAN**
世界首長誓約 / 日本

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

山県市まちづくり・企業支援課 笠井

Tel : 0581-22-6831 Fax : 0581-22-2118

Mail : machi@city.gifu-yamagata.lg.jp